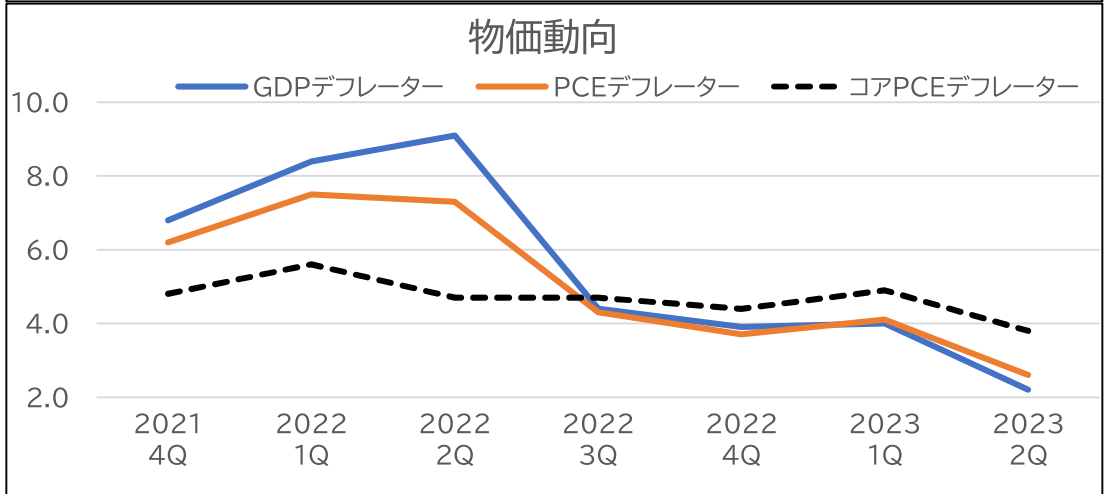
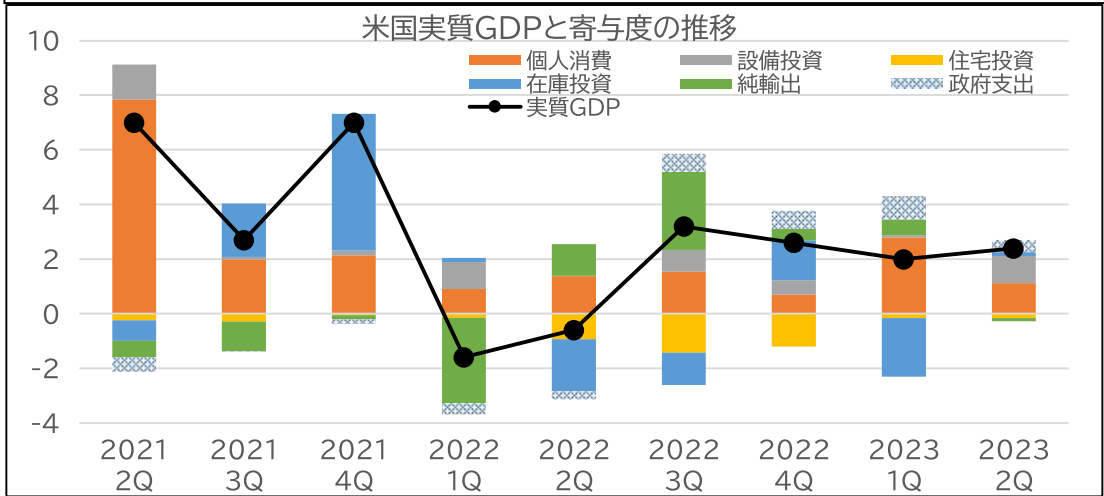


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾  
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳  
4-6 月期米国 実質 GDP

2023/07/31 第 34 号  
朝日田コーポレーション  
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp  
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)米商務省資料より作成。

米国の4-6月期GDPは、前期比年率で+2.4%と金融引締めが継続する中でも、4四半期連続でプラス成長となった。項目別にみると個人消費や設備投資といった国内需要の強さが目立つ。

また、物価関連指標については、総じて緩やかながら低下傾向がみられ始めていた。ただし、基調をあらわすコアPCEデフレーターは依然高い水準で推移している点が確認された。

今後も雇用環境の良好さを背景に、屋台骨である個人消費を中心に底堅く推移するとみるが、欧州など外部環境の悪化や金融引締めの長期化の影響から、徐々に成長のペースは鈍化しよう。